

主な内容

P2 令和4年度事業 ピックアップ

P6 議会活性化特別委員会設置

P9 常任委員会報告

P12 市政を問う「一般質問」

P19 「富津防災」事業化

299億4,192万円

ピックアップ

定住促進対策事業

7,387万円

【事業目的】

定住・移住に関する支援を行い、市内の方の定住及び市外の方の移住を促進し、人口減少対策及び地域コミュニティの維持・活性化を図る。

【事業内容】

- ①定住促進奨励補助金
 - ・新築住宅取得補助金
 - ・中古住宅購入補助金
- ②移住促進空き家リフォーム補助金
- ③若者Uターン家賃補助金
- ④お試し住宅の運営
- ⑤空き家等情報登録制度（空き家バンク）の運営
- ⑥空き家バンク登録奨励金
- ⑦空き家活用促進奨励補助金
 - ・空き家物件調査補助金
 - ・家財道具等片付け補助金
 - ・空き家仲介手数料補助金
- ⑧定住促進奨学資金償還補助金 **拡充**



【内容】 返還中のすべての奨学金を対象に拡充

今までは…

令和2年4月1日以降に償還開始等の条件を満たした場合、返済額の1/2を10年間補助（年間上限額：高校36,000円、専門学校等45,000円、大学等60,000円）

若者の移住・定住を一層促進



対象者を「返済中の奨学金がある人」に拡充（市内在住者、今後の移住者も対象に追加）

※自治会加入、滞納がない、公務員でない等の条件あり

⑨地域産業雇用創出チャレンジ支援事業移住支援金 **拡充**

【内容】 子どもがいる世帯への加算措置の新設

- ⑩移住者向け住宅確保加速化支援事業補助金
- ⑪ながさき移住サポートセンターとの連携
- ⑫移住希望者等に対する情報発信など

令和4年度一般会計当初予算

令和4年度事業

オンデマンド型乗り合い送迎サービス事業 3,461万円

【事業目的】

オンデマンド型の乗り合い交通の実証実験及びその本格運行により、少子高齢化を見据えた総合的かつ持続的な新たな地域交通の確立を図る。

【事業内容】

市内全域において、市民の外出支援等を図るため、利用者の要望に柔軟に対応する新たな乗り合い送迎サービス（オンデマンド型）を実施。

＜実証実験＞令和4年6月30日まで
（国見町～愛野町）

＜本格運行＞令和4年7月1日～
（国見町～南串山町） 市内全域



結婚応援事業

9,120万円

【事業目的】

人口減少対策の一環として、出会いから出産までの切れ目ない支援を行い、定住人口の増加に資するとともに、合計特殊出生率の改善に向け、婚姻数の増加を図る。

【事業内容】

①お見合いシステム登録促進補助金

長崎県婚活サポートセンターが運営する会員制のデータマッチングシステムの登録料を補助

②婚活支援事業補助金、婚活支援広報事業

婚活イベントの開催経費補助、タウン誌等でのイベント広報

③カップル応援事業

カップルの出会いから結婚までをサポートする「世話やき隊」を市で登録し、結婚までをサポート

④結婚・定住支援金 **新規** ※既存の結婚奨励金を見直し



【内容】

○ 結婚支援金

令和4年4月1日以降に婚姻する等の要件を満たした場合 ⇒ 40万円（一律、2年分割）

○ 赤ちゃん支援金

令和4年4月1日以降に出産する等の要件を満たした場合 ⇒ 20万円（1人当たり）

⑤結婚新生活支援事業

結婚に伴う新居の費用や引越し費用等を補助

社会体育施設整備事業

5,894万円

【事業目的】

市民の健康増進や選手の技術力向上に資する社会体育施設の適正な維持管理を図るため、改修工事等を行う。

【事業内容】

①社会体育施設改修工事

- ・愛野運動公園グラウンド照明改修工事
- ・みずほすこやかランドテニスコート改修工事
- ・瑞穂体育館バスケットゴール改修工事
- ・愛野運動公園キュービクル改修工事
- ・遊学の里くにみ、みずほすこやかランド遊具補修工事

②その他、施設備品の購入、緊急修繕工事等の実施



みずほすこやかランドテニスコート



遊学の里くにみ遊具

みずほ温泉千年の湯の今後の運営方針

【今後の運営方針概要】

令和3年4月から実施したサウンディング型市場調査の中で、千年の湯が抱えている水中ポンプの問題解決に向けた実証実験の提案がありました。

その内容としては、令和4年度において、国内産水中ポンプ導入による実証実験と、千年の湯の管理・運営等について、民間事業者へ委託するというものです。

○委託事業者：会社名 株式会社 共立メンテナンス



みずほ温泉千年の湯

【具体的な取り組み】

- ・現在の外国製水中ポンプを国内産水中ポンプへ入替え
- ・国内産水中ポンプ導入に係る実証実験を実施
- ・実証実験と併せて、千年の湯の管理・運営を民間事業者へ委託
- ・千年の湯の運営改善に係る検証を実施

【今後の予定】

今後は、現場での実証実験による検証結果に基づき、令和5年3月までに今後の運営方針が判断される予定です。

議案 第 23 号 吾妻町下工業団地に係る市有財産の処分について

【事業目的】

産業の振興と雇用の創出を推進するため、市で整備している吾妻町下工業団地を、以下のとおり、売却しようとするもの。

- ① 土地の表示
所在地 雲仙市吾妻町古城名字河原毛田1番9
面積 25,475.62㎡
- ② 契約の方法 随意契約
- ③ 売却金額 152,853,720円
- ④ 契約の相手方
住所 東京都港区芝公園二丁目11番11号
業者名 株式会社TRAIL
代表者名 代表取締役 濱中 治
- ⑤ 用途 商品等荷捌き配送業務



令和3年度 一般会計補正予算（第16号）の主な事業

家畜飼料高騰特別対策事業【新規】 1,175万円

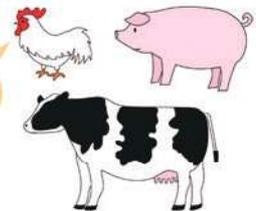
【事業目的】

新型コロナウイルス感染症の影響による輸入コンテナ不足や燃油高騰による輸送費の増等により、輸入飼料が高騰し、畜産経営に大きな影響を及ぼしているため、配合飼料価格安定制度の農業者積立金等に対して補助を行うことにより畜産の経営安定を図る。

【補正の内容】

- ① 対象期間：令和3年度
- ② 補助交付条件：配合飼料価格安定制度加入者及び加入見込者
- ③ 補助内容：配合飼料1トン当たり200円以内
(配合飼料価格安定制度 1トン当たり生産者積立額400円の1/2相当額)

申請期限
令和4年
6月30日まで



農業・漁業燃油高騰特別対策事業【新規】 3,559万円

【事業目的】

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う燃油の価格高騰により、農業及び漁業経営は多大な影響を受けていることから、燃油購入費の一部を支援し、農業者及び漁業者の負担を緩和するとともに、価格高騰時に補填金を交付する仕組みへの加入を促進することにより、経営の安定を図る。

【補正の内容】

- ① 対象期間：令和3年10月1日～令和4年3月31日
- ② 補助交付条件：令和4年度施設園芸セーフティネット加入者及び加入見込者
令和4年度漁業経営セーフティネット加入者
- ③ 補助対象：施設園芸の加温用燃油として使用するA重油の購入代金
漁業用として使用するA重油等の購入代金
- ④ 補助単価：対象燃油1ℓ当たり10円以内、補助金限度額100万円以内

申請期限
令和4年
6月30日まで



雲仙市事業継続支援金

2億717万円

【事業目的】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消費の低迷等により、農業、漁業、商工業等の経営に深刻な影響が生じていることから、事業継続を支援する。

【補正の内容】

申請期限
令和4年
6月30日まで

〈農林課〉〈農漁村整備課〉

- ①対象者：市内の農業者、水産業者（漁業・養殖業）
- ②支給条件：1. 令和3年8月から10月までの合計売上額が、前年または前々年の同期の合計売上額と比較して20%以上減少していること。
2. 令和4年1月から3月までの合計売上額が、前年、前々年または前々々年の同期の合計売上額と比較して20%以上減少していること。
- ③支給額：②のそれぞれ、1事業者当たり上限30万円

〈商工労政課〉

- ①対象者：市内の中小・小規模事業者（農林水産業を除く）
- ②支給条件：令和4年1月、2月および3月の月間売上額が、前年、前々年または前々々年の同月と比較して20%以上減少していること。
- ③支給額：1事業者1カ月当たり上限10万円（最大10万円×3カ月）

開かれた議会を目指して！ 議会活性化特別委員会を設置

市議会は、本市の人口減少問題や財政状況を考え、議員自らが、議員定数等に関し、調査・検討する必要があると判断し、「議会活性化特別委員会」を設置しました。

特別委員会では、議員定数等に関し調査・研究をおこない、市民の期待に応える議会づくりに取り組みます。

令和4年3月23日の本会議において、下記の9名が委員に選任されました。

議会
活性化
特別
委員会

委員長 小田 孝明

副委員長 大山 真一

委員 平野 利和
町田 康則
前田 哲

元村 康一
林田 哲幸
大久保正美
渡辺 勝美

令和4年第1回雲仙市議会臨時会(R4.2.1開催) 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 1 号	監査委員の選任について	原案可決
議案 第 2 号	令和3年度雲仙市一般会計補正予算(第14号)案について	原案可決

人事案件

監 査 委 員



ふじた いちじ 氏
藤田 一二 氏

令和4年2月1日
令和8年1月31日(4年間)

監査委員とは？

監査委員とは、地方自治法の規定により、自治体に必ず設置される市長から独立した委員(執行機関)であり、自治体の財務事務や経営に関する事業の管理等について監査を行います。

雲仙市の監査委員は、2人の識見を有する委員で構成されており、合議により各種の監査結果に関する報告等を決定しています。

1 任命…議会の同意を得て市長が任命します。

2 任期…監査委員の任期は4年です。

3 身分…委員の身分は、特別職の地方公務員で非常勤です。

令和4年第1回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 3 号	専決処分した事件の承認について(令和3年度雲仙市一般会計補正予算(第15号))	承 認
議案 第 4 号	雲仙市永松邸の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案 第 5 号	雲仙市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 6 号	雲仙市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 7 号	雲仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 8 号	雲仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 9 号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 10 号	雲仙市火入れに関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 11 号	雲仙市立児童館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案 第 12 号	令和3年度雲仙市一般会計補正予算(第16号)案について	原案可決

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 13 号	令和 3 年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）案について	原案可決
議案 第 14 号	令和 3 年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）案について	原案可決
議案 第 15 号	令和 4 年度雲仙市一般会計予算案について	原案可決
議案 第 16 号	令和 4 年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について	原案可決
議案 第 17 号	令和 4 年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案について	原案可決
議案 第 18 号	令和 4 年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第 19 号	令和 4 年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第 20 号	令和 4 年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第 21 号	令和 4 年度雲仙市水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 22 号	令和 4 年度雲仙市下水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 23 号	市有財産の処分について	原案可決
議案 第 24 号	市の境界変更について	原案可決
議案 第 25 号	市の境界変更に伴う財産処分に関する協議について	原案可決
議案 第 26 号	字の区域の変更について	原案可決
発議 第 1 号	雲仙市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議 第 2 号	議会活性化特別委員会の設置等について	原案可決

賛 否 表

議案番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
																				結 果
※本会議において否決及び賛否が分かれた議案について掲載しています。																				
雲仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度雲仙市一般会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 ▲欠席 ※議長（松尾文昭）は、採決に加わらない。

選挙時のポスター掲示版

問 市民がほとんど立ち寄り
ない場所や、ポスターが
見えにくい場所が見受け
られるが、管理状況はど
うなのだろうか。

答 市内に214カ所ある
が、これまでも場所が適
当でない等の情報があれ
ば、その都度、選挙管理
委員会に諮り、変更して
いる。

問 令和4年度に2つの選挙
を控えているので、管理
状況を見直すべきでは。

答 今後は、ポスター掲示場
の全箇所を所管課で確認
し、設置場所等に問題が
ある場合は、選挙管理委
員会で協議をしていきた
い。

定住促進対策事業及び結
婚応援事業における各種
制度の見直しや拡充

問 本市の取り組みは大変素
晴しい。同時に、この制
度を周知する方法が一番
大切ではないかと考える
が、今後の周知方法はど
うなのだろうか。

答 今後、もっと制度を周知
したいとの考えから、
フェイスブックやインス
タグラムを独自に開設し
ている。また、令和4年
度は移住コーディネー
ターという会計年度任用
職員を雇用し、相談、広
報、周知体制に力を入れ
ていきたい。

地域づくり推進課

全天候型の子どもの
遊び場

問 施政方針にも掲載され
ていた、子どもの遊び
場整備事業の説明の中
で全天候型施設等の整
備に向けて基本構想を
策定するとあったが、
全天候型施設とは、雨
天時でも遊べる場所を
市内で整備するという
ことなのだろうか。

答 本市においては子ども
が遊ぶ空間として、屋
内遊ぶ場所が不足し
ていると考えており、
過去に実施した市民ア
ンケートでも同様の要
望があった。何とかそ
の実現に向け、可能性
を含めて基本構想の策
定を令和4年度に取り
組むものである。

政策企画課

消防本部の一本化

問 1つの市で2つの消防
本部の管轄に分かれて
いる現状は非常に問題
である。問題解消に向
け、市がもっと努力す
るべきと思うが、消防
本部の一本化について
市はどのように考えて
いるのだろうか。

答 消防本部の一本化につ
いては、これまでに検
討、協議してきたが、
なかなか難しい問題で
ある。市としては、県
が推進する消防広域化
に合わせて、一体的に
同じ組織にならないか
と考えている。



市民安全課

総務

委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 渡辺 勝美 |
| 副委員長 | 上田 篤 |
| 委員 | 松尾 文昭 |
| | 平野 利和 |
| | 元村 康一 |
| | 深堀 善彰 |
| | 佐藤 義隆 |

文教厚生

委員会

委員長 大久保正美
 副委員長 大山 真一
 前田 哲
 酒井 恭二
 矢崎 勝己
 藤本淳次郎

国民健康保険税

問 社会保険制度と同じレベルの税額となるよう国に要望する考えはないのか。

答 国民健康保険制度と社会保険制度を比較した場合、社会保険については雇用主が半額を負担する制度であるため、致し方ないと考えるが、国民健康保険の個人負担（税負担）を軽減するよう県と一緒に国へ要望していく。

なぜ療養給付費は増加しているのか

問 国民健康保険被保険者数は減少傾向であるにも関わらず療養給付費は増加しているその要因は何か。

答 1人当たりの医療費については、平成30年度が38万3597円、令和元年度が39万5324円となったが、年々増加傾向にある。医療の高度化により1件当たりの医療費が高くなってきているのではないかと考える。

総合窓口課



現地視察（みずほ温泉千年の湯）

民間教育、保育施設 給付事業減額

問 民間教育、保育施設給付事業減額の要因は何か。

答 今年度末で在園時が、1694名となり、例年約60名〜70名の児童が減少している。また、特に1人当たりの単価が月額29万990円と額が大きいゼロ歳児を69名と見込んでいたが、実績で53名と16名減少したことが主な要因である。



子ども支援課

ごみの減量化

問 ごみの減量化については、県央県南広域環境組合への負担金算定に大きく関わるが、どのような取り組みをしているのか。

答 生ごみ、古紙類が大きな重量を占めているため、その対策が重要であると考える。新年度から、これまで「ストックハウス」や「分け兵衛ハウス」で回収していた古紙類を各ごみステーションで回収する取り組みを実施し、資源化率の向上とごみの減量化に努めたい。



環境政策課

観光資源整備・活用事業

問 観光資源整備・活用事業の内容は。

答 浮き桟橋の整備をするための工事費、国崎半島自然公園にあるトイレ、炊事場の改修、シャワー室の設置を考えている。

問 漁協に委託して観光客を船で連れてくるといったことは考えているのか。

答 市が主体となって船を出すとか委託は考えていないが、漁協等にご協力いただき、例えば小浜港から国崎半島自然公園まで連れて行って小浜港まで戻るといったようなことを考えている。

☆付帯決議

本委員会は、令和4年度一般会計予算案に対し「観光資源整備・活用事業」1億4357万円のうち、主たる事業である「国崎半島自然公園整備」において、
①浮き桟橋の設置については、安全性を第一に考え頑丈なものとなるよう建設等行うこと。
②観光客を船で運ぶことについては、雲仙市が事業主体となるのではなく、観光業界や漁協等が主体となった観光振興が図られるよう、事業完了までに運行形態を確立することとの付帯決議を付けました。

観光物産課

産業建設

委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 小田 孝明 |
| 副委員長 | 小畑 吉時 |
| 町田 康則 | 林田 哲幸 |
| | 山本 松一 |
| | 坂本 弘樹 |

令和3年度
一般会計補正予算

問 県営港湾施設整備事業負担金とは。

答 多比良港に入って右側にある荷揚げ場に大型貨物船が着岸できるように整備を行っているが、岸壁の老朽化が激しく、岸壁の半分を早期に整備する必要がある、その一部を地元負担金として市が負担するものである。

監理課

問 国見塩屋下原線改良工事の内容は。

答 国見町文化会館の駐車場付近の木が繁茂している土地の測量設計を行い、現在用地交渉を行っている状況である。

道路河川課

南串山水産生産基盤
整備事業

問 事業の経緯は。

答 旧南串山町時代に漁協整備長期計画で、物揚場の整備が計画されていたが、新市に引き継がれずに未整備の状態のままとなっていた。漁協との意見交換の中で整備計画の要望が改めて出され、現在に至っている。



農漁村整備課

市政を問う 13名の議員が一般質問



前田 哲…… P 12	平野 利和…… P 13	町田 康則…… P 13
山本 松一…… P 14	小畑 吉時…… P 14	藤本淳次郎…… P 15
佐藤 義隆…… P 15	林田 哲幸…… P 16	坂本 弘樹…… P 16
小田 孝明…… P 17	上田 篤…… P 17	大山 真一…… P 18
酒井 恭二…… P 18		

一般質問は、質問者自身が会議録をもとに原稿を作成しています。

スポーツで経済活性化



まへだ さとし
前田 哲 議員

スポーツツーリズムで
観光振興を

議員 新小浜体育館のオー

ブンに合わせた大会、大学の合宿、プロスポーツの試合誘致とあるが、観光振興とどう結びつけていくのか。

教育次長 地域資源である

温泉、国立公園などを生かして、スポーツツーリズムを強力に進めていきたい。観光団体と連携しながら地域振興につなげていきたいと考えている。

議員 観光商工部観光物産

課、教育委員会スポーツ振興課、新設された民間の雲仙観光局、地元競技団体をスポーツツーリズムプロジェクトチーム、ワンチームとして連動して、長崎県も巻き込んで動き出すと、大きな経済効果



を生み出すものになる。市長には、トップセールスを期待するが、スポーツツーリズムの推進に向け、市長の思いは、どうか。

市長 新小浜体育館のオー

ブンを絶好の機会と捉え、市の観光資源とスポーツ資源を最大限に活用し、訪れた人にスポーツを通じて地域の魅力を伝え、次回の旅行への意欲をかき立てることができるよう受け入れ環境の整備に努め、交流人口の拡大、地域経済への波及効果につなげていきたいと考えている。

みずほ千年の湯の今後



ひらの 利和議員

議員 令和4年3月31日

雲仙市直営での運営は行わないと明言されたが、市民の方々は残して欲しいとの要望もあっている。今後の方針は。

健康福祉部長 令和4年4

月に入ったら事業者との委託契約や従業員の研修など一週間程度を経て運営を再開したい。その後、同年8月頃に国内産水中ポンプの取り換え工事を行い、引き続き試験運転及び年間を通じた運営改善等について検証をして令和5年3月までには今後の方向性について判断する。

再生可能エネルギーの活用は

議員 「2050年のカー

ボンニュートラル達成に向



出典：環境省ホームページ

け、雲仙市が有する様々な再生可能エネルギーの最大限の活用を図る計画策定に取り組み。」とあるが来年度からどのように取り組むのか。

環境水道部長 今後の取り

組みは令和4年度に再生可能エネルギー導入の計画策定を行い、その計画に基づき、温室効果ガス削減のための政策立案、計画策定、キャンペーンなどを積極的に打ち出すことによつて、市民や事業者の関心を高め、脱炭素に向けた対策を加速させていく。

家庭ごみの減量対策を



まちだ やすのり 町田 康則議員

議員 ごみ処理の県央県南

広域環境組合は、センターの建て替え計画で、規約で定めた4市の負担割合の基準を平等人口割からごみ処理量に変更することになった。令和8年度新施設になったら、ごみ量割100%になり、ごみの量が減れば負担金は減少することになる。減量の施策は。

環境水道部長 生ごみ処理

機購入補助事業により家庭の生ごみ減量化を推進しており、今年4月から新たに新聞などの古紙類を月1回のごみステーション回収を実施する。
議員 島原市の減量プロジェクト、鹿児島市は家庭ごみマイナス100gを目標に取り組んでいる。雲仙市の1人

1日当たりの排出量は994gとかなり高い。他市のまねできることは見習って指標取組、施策を立ててもらいたい。

若者の地域就職支援を

議員 4月開始の雲仙地域づくり事業協同組合の事業とは。

観光商工部長 県が認定し

た協同組合が、地域全体の仕事を組み合わせて、年間を通じて仕事を創出し、地域内外の若者を雇用し、繁忙期に応じた人材を派遣する仕組みで、運営を国、市で支援する。
議員 地元で働くメリットは、通勤のストレスが少ない、食費や住宅費が安く済む、家族との時間が増えるなどがある。デメリットは、地元では給料が安い、都会でのキャリアが通用しない、求人の種類や数が少ない等だが、地元の人や地元で働くための施策だと思っているので本気で取り組んでもらいたい。

交通弱者対策は



やまもと まつみち
山本 松一 議員

議員 市が実証実験をしているチヨイソコウんぜんについて、高齢者で車の免許証が無く、病院や通学にも支障が出るので乗合タクシーを廃止しないでほしいとの相談があった。今後の運行計画は。

市長 高齢者の外出支援の質を高め、総合的かつ持続可能な地域交通の確立を図ることを目的として市内全域の本格運行を7月に開始したい。

議員 チヨイソコウんぜん
の運行は、各町の交通の便が悪い地区の交通弱者対策として大変有効なので、なるだけ早く市内全域での運行を望む。乗合タクシーは、令和4年12月まではそのまま運行なのか。

総務部長 時間帯や休日対応も整備して令和5年1月か

ら完全移行したい。

フードバンク

議員 フードバンクとは、安全に食べられるのに、包装の破損・過剰在庫・印字ミスなどで流通できない食品を企業等から寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動だが、市では市内生活困窮者へのフードバンク活動は実施したのか。

健康福祉部長 フードバンクによる支援を令和3年12月より実施している。定期配布している一人親世帯は、30世帯で、配布品は、生活用品・米・麺・野菜・冷凍食品・レトルト食品・菓子などである。

議員 日本では、年間1927万トンの食べられる食品が廃棄されている。災害時用として市に備蓄されて賞味期限が迫った食料や水を一人親世帯に配布してはどうか。

市民生活部長 フードバンクと連携して有効に活用したい。

悪質な不法投棄



おばた よしとき
小畑 吉時 議員

議員 国見町内で大量のエンジンが不法投棄された事例には、どのように対処したのか。

市長 雲仙市環境美化条例に基づき、投棄者を特定し、適切な処理について指導を行い、撤去されたとの報告を受けた。

議員 投棄されていた場所付近にはため池があり、もし大雨時に大量の投棄物がため池に流れ込んだ場合、大害になる恐れがある。この悪質な不法投棄に対し、条例に基づく指導だけで終わるのか。罰則はないのか。

環境水道部長 今回の案件では、行為者自らが行為を認め、市の勧告に従い、投棄したエンジンの回収及び処理を速やかに行ったため、条例に

基づく罰金はなかった。

議員 不法投棄の監視体制はどのようになっているのか

部長 環境監視員6名が、地区ごとに1日4時間、月10日を基本に巡回パトロールを実施している。

議員 不法投棄されやすい山間部の監視については、専門の方にお願ひするなど、監視体制の見直しをお願ひする。

多比良港工業団地

議員 国見総合支所入口前の三差路から埋立地への取付道路設置の進捗状況は。

観光商工部長 現在、県で進入口の設計を行っており、来年度以降の着工に向け、予算措置等の準備を行っている。



学校教育と施設利用



ふじもとじゅんじろう
藤本淳次郎議員

議員 教職員の働き方改革は。

教育長 超過勤務削減のため週1回の定時退校日や週2回の部活動休養日の設定、業務軽減のために調査物の削減や報告の簡素化に取り組んでいる。

議員 小学校の水泳指導を集約して、みずほすこやかランド屋内プールを利用することで小学校プール維持管理費の削減となる、インストラクターを配置できれば教職員の働き方改革につながるのでは。

教育長 各学校のプールの維持をしていくことは、非常に財政負担が大きい、近隣の学校との集約とか、市内の施設を有効活用するという視点から前向きに検討していく。

議員 市内のナイター設備の水銀灯の修理はできるのか。

教育次長 今後はLED化を考えており、取り替えた水銀灯が使えるのであれば、他のグラウンドに再利用する。

多比良港工業団地及び埋立地

議員 埋立地の北側が全て海に面している、市が購入部分の塩害対策と、県の計画である緑地を塩害対策緑地として、県に要望できないか。

観光商工部長 塩害を気にする企業の要望を真剣に受け止め、例えば塩分の飛来調査の実施等、県や産業振興財団からもアイデアを頂戴し考える。緑地計画の用地は県と、協議、研究していく。

議員 地元の企業がここに移転を考えている、雇用確保につながる、地元ならではの優遇措置があってもいいのでは。

部長 企業を訪問した際の意見、他の都道府県や市町村の制度を研究する。

松原保安林の管理は



さとう よしたか
佐藤 義隆議員

議員 千々石松原保安林は、昭和62年に日本の白砂青松百選に選定された千々石海岸の松原である。

千々石海岸の松原では、小さい虫の被害が全体的に顕著に見受けられるが、防除はどのような対策をするのか。

市長 本市では、松原保安林における松くい虫被害の対策として、松くい虫の活動が活発になる前の5月下旬から6月上旬までに、殺虫効果が期待できる薬剤の地上散布を実施すると共に、松くい虫の侵入、増殖を防止する効果が期待できる樹幹注入を、薬剤の薬効期間である6年以内をめどに年次的に実施している。

また、松くい虫の被害によ



り枯れた松については、翌年に羽化、飛散することで被害が拡大することを防ぐため、伐倒し、駆除を実施している。

今年度においては、例年以上に枯れた松が多いことから、その原因について、長崎県農林技術開発センターに現地調査を依頼しているが、現時点では原因特定に至っておらず、今後も引き続き原因究明並びに対策について調査を行うと報告を受けた。

松林の保全対策を引き続き実施し千々石町松原保安林の保全に全力で取り組む。

手厚く柔軟な対応を



はやしだ てつゆき
林田 哲幸 議員

**生活困窮者等の自立支援
相談体制の強化**

議員 制度についてどの窓口にも相談すればいいのかわからない方がいる。その周知方法など聞かせてほしい。

市長 特に福祉事務所の業務については市民皆様の身体、精神、生活等に関わる非常にデリケートな分野であることから、相談される方に寄り添った対応が求められている。相談を必要とされる方に適切に認識してもらえよう工夫を重ねていく。

公共施設の利用

議員 毎年1月に小浜少年剣道部の寒稽古が約1週間行われているが、今年は普段練

習場所として使っている小浜公会堂の利用許可が下りなかったが、理由を聞きたい。

教育長 部活動と位置付けたら、校長は勤務命令を出すことになるので、当然、認められないという指導をした。

議員 眠い時間に布団から出て、寒い中稽古をする精神面の鍛錬ということだが。地域で伝統的に行われているものが、条例とか規則によって中止されていくことが残念である。

副市長 今となつては深くお詫びをしないとイケないのではないかと思っている。今後については伝統的な行事もあるの、もう少し協議をして結論を出すべきではないかと考えている。

他の質問

- ・GIGAスクール構想
 - ・学校トイレに暖房便座を
 - ・公共施設のインターネット
- 予約

林道整備に鉄鋼スラグ



さかもと ひろき
坂本 弘樹 議員

道路整備に鉄鋼スラグ製品を

議員 大雨で洗い流され、車も通れない状態の林道が散見される中、道路舗装の素材として、林道規定に鉄鋼スラグ製品の使用が明記された。価格も安価で作業もしやすい鉄鋼スラグ製品を使用してはどうか。

農林水産部長 長崎県森林整備室においても、鉄鋼スラグ舗装の費用等は検証されており、砂利による上置路盤工より若干コストはかかるものの、コンクリート舗装よりかなり安価で施工できる。有効な方法であるので県と協議をし、鉄鋼スラグ製品の活用を考えていきたい。

議員 特に国見町には、山

林の中に市道が多く通っている。このような市道には使用できないか。

建設部長 アスファルト舗装・コンクリート舗装に比べ、コスト・施工性において優れているので、山間部で通行量の少ない未舗装箇所等について活用を考えてみたい。

議員 山の中に限らず、農道・里道等の交通量の多いところにも使えるのでは。

農林水産部長 農道等においても、通行量等が少なく使用頻度が少ないところについては、この鉄鋼スラグ製品の活用も有効かと考える。



鉄鋼スラグ製品舗装

みずほ温泉千年の湯



おだ こうめい
小田 孝明議員

みずほすこやかランドは、貴重な資源、財産

議員 みずほすこやかランドの8施設、

- ・みずほ温泉千年の湯（温泉）
- ・瑞穂ヘルシー会館（福祉）
- ・ふれあい会館（宿泊）
- ・ふれあい広場（文化交流）
- ・多目的グラウンド（体育）
- ・テニスコート（体育）
- ・グラウンドゴルフ場（体育）
- ・ふれあいプール（体育）

について、民間事業者からのサウンディング型市場調査（民間事業者からの意見やアイデアの聞き取り）結果等を基に策定された基本構想、基本計画はどうなっているのか。

市長 市場調査に参加した業者から、みずほ温泉千年の湯に国内産水中ポンプ運用の



可能性について提案があり、運用の可否について実証実験を実施したい。その業者は、全国で温浴施設を多数運営し、実績のある株式会社共立メンテナンス（東証一部上場）であり、そこに千年の湯の運営を業務委託する。国内産水中ポンプ実証実験の運用の可否にかかわらず、みずほすこやかランド全体の在り方を瑞穂地区、雲仙市にとって一番いい方向になるよう検討しなければならぬ。

議員 みずほすこやかランド5.3ヘクタールの生かし方によって瑞穂地区の活性化は国見、吾妻地区への波及も期待できる。

福祉医療の現物給付化

福祉医療対象を高校生までに

議員 子どもの健全な成長を図るため医療費助成を拡充することは大きな効果が見込まれるのではないかと。

市長 子どもの福祉医療費助成制度は子どもを安心して生み育てられる社会づくりの不可欠な制度である。本市では平成26年度から市単独事業として助成対象を中学生まで拡充し、就学前の児童は現物給付を行い、小学生以上は償還払いを実施。

現在、県内全ての自治体が中学生まで助成対象としている。子育て環境充実のため県の助成対象を中学生まで引き上げるよう長崎県市長会から県へ要望し、国の制度として創設することも要望している。



うえだ あつし
上田 篤議員

健康福祉部長

県内で福祉医療の助成対象者を高校生までに拡充している自治体は7件、33.3%、残りは全て中学生までとなっている。

全て現物給付で実施しているのは6件、28.5%、残りは全て償還払いである。

雲仙市の子ども福祉医療の対象年齢を高校生まで引き上げ、かつ現物給付とした場合の予算額は現在よりも約2400万円の増額となる。

▼償還払い：病院窓口で治療費をいったん支払い、後で市から払い戻しを受ける

▼現物給付：病院窓口での治療費支払いは一部負担金のみ

議員 雲仙市で生まれ育ち、市の今後を担う子どもたちのためにぜひとも医療費の現物給付化を実現してほしい。

他の質問

- ・就学援助の拡充
- ・公共施設の女性トイレへの生理用品の配置
- ・みずほ温泉千年の湯
- ・雲仙温泉のモニタメント

国道街路灯の維持管理



おおやま しんいち
大山 真一 議員

要望書への対応は

議員 昨年、南串山地区住民より提出された要望書はどのような内容だったのか。

市民生活部長 「南串山よしのうち二十日会」及び関係自治会から国道沿線に設置した街路灯の維持管理が厳しい状態となっており防犯灯として活用できるものについて今後は市で維持管理してほしいとの要望である。

議員 この要望書は自治会長会との連名でもあり行政としては解決策について地元関係者と協議するなどして回答すべきと思うが市の見解は。

部長 要望に対する対応について設置された経緯や管理

の方法、防犯灯としての活用効果などについて提出者及び地元自治会、そして市役所関係部署で早急に協議する。

畑かん施設の支援は

議員 南串山町の各地域で畑地かんがい用水施設を管理運営している団体が組織されているが近年は各施設の老朽化が進み市への相談が増えてきている。今後ますますこの維持管理に経費を要していくことが懸念されるが農地保全の観点から行政の支援を検討されたい。

農林水産部長 いろいろと問い合わせがなされた件については関係者からその内容を十分に聞いて対策について助言ができればと考える。困っている農業者からの意見を聞きながら地元がどういった方向で施設の維持管理を考えているかというのを聞いて市の事業内容が使えるかアドバイスしながら研究して行きたい。

家上の巨大貯水タンク



さかい きょうじ
酒井 恭二 議員

議員 市はこの貯水タンクの計画をどのように知ったのか。

市長 通告により初めて知り、現地を視察した。市としては県と水源等の協議を平成25年度から行い、井戸の設置許可を令和2年7月に決裁した。

議員 巨大タンクの建設についてはほとんど知らなかったとのことであるが、このような巨大タンクを市内に作るのであれば、県は市に相談・報告が必要なのではないのか。

農林水産部長 その点は、市への報告不足だと認識している。

議員 新山地区の水源の利便については、どのように協議されているのか。

環境水道部長 県が井戸申し込み時に一日の取水量を150m³と申請されており、市



内の改良区の認定農業者4名が使用する量とされている。

議員 この巨大タンクが怖い、夜も眠れないと悩まれている当事者と県の協議に、市も立ち会われているが、どう対応されているのか。

農林水産部長 交渉の場に行き、問題解決に取り組んでいる。今後は、状況を注視し情報収集に努め、関係者への丁寧な対応を心がけるよう、県に要望していく。

議員 市では「誰もが安心して安全に暮らせるまちづくり」を標榜しており、この問題の対応で言行不一致とならないよう、市民に寄り添う対応をお願いする。

議会のうごき

令和4年2月14日（月） 雲仙観光局からの要望

令和4年1月25日に設立した雲仙観光局から山下代表理事をはじめ5名の方が来庁され、雲仙観光局の運営・事業推進に向けた市議会からの支援・協力依頼のため要望書を持参されました。

本市の観光振興の充実に向けて鋭意努力するとともに、行政サイドの対応を十分に見極め、適切な判断を行っていくとの回答を行いました。



令和4年4月9日（土） 小浜体育館落成式

落成式が開催され、来賓祝辞、工事経過報告、感謝状贈呈が行われた後、メインアリーナにおいて、テープカットが行われました。

誕生した新体育館が地域の拠点として愛着と親しみを持って利用され、スポーツ・文化の振興、スポーツコンベンション誘致による地域活性化や市内観光産業への効果に期待します。

一般国道57号富津防災の新規事業化



—地域の悲願 愛野・小浜バイパス整備における大きな前進—

愛野町から小浜町までの区間における幹線道路整備（一般国道57号の代替路整備）については、愛野・小浜バイパス建設促進期成会及び雲仙市単独でも国や県に対する要望などを進めてきました。

この度、愛野～小浜間でも特に防災面や交通安全の面で課題が集中する小浜町富津地区において「一般国道57号富津防災」が**新規事業化**されました。

今後は、「一般国道57号富津防災」の早期完成と、将来的には「愛野・小浜バイパス」の整備実現に向けて、市と市議会が一体となって推進を図ってまいります。



議会を傍聴してみませんか？

令和4年第2回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は 6月9日（木）～7月1日（金）です

- 一般質問 6月13日（月）～ 6月16日（木）
- 議案質疑 6月20日（月）
- 委員会
 - 文教厚生常任委員会 6月21日（火）
 - 産業建設常任委員会 6月21日（火）・22日（水）
 - 総務常任委員会 6月22日（水）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。



編 集 後 記

5月に入り、令和4年度も1カ月が過ぎました。コロナ禍における生活も3年目となり、世界情勢も混沌としています。「自分だけが良ければ！」との思いが強くなると摩擦が生まれることに気付くことが大事だと思います。

さて、雲仙市も市民の生活安定のための令和4年度当初予算を執行しており、子育て・移住定住・福祉・農漁業支援策等に力を入れて取り組んでいます。市民の安全安心、世界平和を願いながら、より良い生活を送ることができるよう願っております。

（平野 利和）



議会広報編集特別委員会

委員長 前田 哲
副委員長 藤本 淳次郎
委員 平野 利和、上田 篤
林田 哲幸、山本 松一

＝ 抗議文を提出 ＝

ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に対する抗議文について、雲仙市議会としてもロシアに対し早急に抗議すべきとの意見から、下記のとおり雲仙市長、雲仙市議会議長の連名で抗議文を提出しました。

抗議文

貴国は、2022年2月24日にウクライナへの軍事的侵攻を行いました。
また、侵攻に際し、核兵器の使用を示唆する発言がなされたとの報道に接しました。

核兵器の廃絶と世界恒久平和の確立は、全世界の人々の共通の悲願であります。

今年1月に貴国を含む核保有5か国が発出した共同声明の中で、「核戦争に勝者はなく、決して核戦争をしてはならない」と世界に発信した矢先の発言であり、国際社会が「核兵器のない世界」の実現に向けて努力を続けるなか、全世界の核廃絶と平和への願いに反する行為であり、被爆県長崎の一都市として厳重に抗議します。

広島、長崎に続く、第三の戦争被爆地を生むことは絶対にあってはなりません。

人々の尊い命と平和な暮らしを理不尽に奪う侵略行為を直ちに中止し、平和的解決への道を探ることを強く要請いたします。

お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。